

# 日常のメディア との向き合い方

## ～人権の視点から～



新型コロナウイルスの感染拡大が始まって1年半。度重なる「緊急事態宣言」、外出の自粛、オンライン授業、ワクチン接種などこれまで経験したことのない出来事が次々と起こり、今なお収束の兆しは見えません。人との距離を置かざるをえない今、メディア（インターネット、SNS、テレビ、新聞など）は、ますます、自分がどう考えて、どう動くのかを判断する根拠になっています。

私たちが流されることなく、能動的に日常のメディアと向き合っていくことは、人権の視点からメディアを考えることにつながります。2回の講座で、グループワークによる分析と対話を通してメディアとつきあうヒントを考えたいと思います。

### 入門編

9月1日（水）  
14:00～16:00

- ①メディア・リテラシーの定義/基本概念を学ぶ
- ②自分とメディアの関係を意識化し、メディアの見方について考える

### 応用編

9月8日（水）  
14:00～16:00

- ①メディアが伝えるものの考え方を多面的に読み解くことを考える
- ②ニュース報道の分析

### 参加無料

どちらか1回でも  
参加できます。

申込は電話、メール、  
fax、HP、来館で受付

ファシリテーター：とよなかメディアプロジェクト  
(西村寿子さん、田島知之さん)

会場：人権平和センター豊中

定員：各30人(要申込・先着順)

主催：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会 (豊中市委託事業)

住所：豊中市岡町北3-13-7 tel: 06-6841-5300

fax: 06-6841-6655 mail: bwz37306@nifty.com



講座申込ページ

※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためにマスクの着用にご協力ください。

また、感染状況により、講座が延期または中止になる可能性があります。

